

里山保全活用型ビジネス展開 のための参考事例見学会 にご参加ください！

学研高山第2工区のあり方を考える生駒市民の会



荒駒るみさん作「お仕事マンガ『農業家』」
＜掲載元 HP「福娘童話集」＞（許可を得て転載）

日時： 11月12日（月） 集合は午前8時30分（生駒駅メイン改札口前）、解散は正午ごろ（同）

場所： 大和郡山市「自然農園 アイビィファーム」

内容： 学研高山第2工区での里山保全活用型ビジネス展開計画立案の参考となる「環境保全型農業」事業を見学し学びます。

参加費： 300円（交通費に充当いたします。）

必需品： 飲み物、雨具、歩きやすい服装

申込： はがきに参加者全員の住所・氏名・電話番号を書いて、11月10日（土）＜必着＞までに、
山口昭夫（〒630-0135 生駒市南田原町1051-8 ☎090・7358・5464）まで

＜「里山保全活用型ビジネス」とは＞

里山の地権者より土地を借用し、里山の地形は改変せずに、その地形を利用しその地形に応じて、里山の恵み（農林作物、遊び保養学び育ちの場、生物多様性、環境保全）を活用したビジネスをおこない、食の安全保障、緑豊かな環境、健康増進、心の安らぎ等を市民に提供し、地権者には収益を還元していく、「未来型＝社会課題解決型」ビジネスのこと。

地権者被害（所有地を有効に用益・処分できないこと）の解決と里山の保全（自然破壊の防止）の両立を実現するもので、また、行政にとっても地域経済循環率の向上や税収と雇用の増大をもたらす歓迎すべきものであり、地権者・市民・行政の3者にとって喜ばしい、**CSV（Creating Shared Value／共通価値の創造／三方よし）の事業手法**である。

具体的には、冒険の森のような里山遊園事業、都市型・環境保全型農業経営事業、里山ガーデン事業、里山レストラン・里山カフェ事業、牧場事業、その他各種の里山活用事業（市民農園、里山学校、里山の生活・文化体験、山の幸の栽培と販売、芸術の森など）をビジネスとして展開。

＜「自然農園 アイビィファーム」のご紹介＞

- ①**無農薬**・・・農薬・除草剤を一切使用せず。
- ②**有機栽培**・・・化学肥料を一切使用せず、植物系有機肥料で作物を育てる。なお、植物系有機肥料とは、穀類を中心とした堆肥を元肥に、アミノ酸（作物をおいしく育てる）、木酢液（自然の虫除け効果あり）、にがり等（ミネラル、カルシウムなどを含む）の数種類の有機混合液肥料のこと。
- ③農薬や化学肥料使用作物と違って、**安全安心**で、抗酸化力と栄養価も高く、細胞を活性化し、美味しい無農薬・有機栽培の農作物を栽培し、家庭に届けている。
- ④**米（ひのひかり）と旬の野菜**（白菜、じゃがいも、蕪、にんにく、玉ねぎ、人参、トマト、菜の花、インゲン、さつまいも、かぼちゃ、きゅうり、葱、ピーマン、なす、オクラ、大根など）を収穫後に農園から各家庭に直送している。
- ⑤以上のような、「未来型＝環境保全型」農業を推進。

発行者： 吉波伸治 生駒市北大和3-2-7

☎0743-84-4355